

第17回 グリーン購入大賞 募集要項

＜募集期間＞2015年5月11日（月）～7月10日（金）

グリーン購入ネットワーク（事務局：東京都中央区 会長：平尾雅彦）では、グリーン購入に関する優れた取り組みを表彰する『第17回 グリーン購入大賞』の募集を開始いたします。地球温暖化防止対策や生物多様性保全の一環として、カーボン・オフセットやカーボンフットプリント、コーズマーケティング、再生可能エネルギー等に係る取り組みを含めて、幅広い取り組みを募集いたします。

＜グリーン購入大賞とは＞

グリーン購入大賞は、環境に配慮した製品やサービスを環境負荷低減に努める事業者から優先的に購入する「グリーン購入」の普及・拡大に取り組む団体を表彰する制度です。グリーン購入の普及に関する先進事例を表彰し、一層の取り組みを奨励するとともに、先進事例の紹介を通じてグリーン購入の普及と質的向上を図ることを目的としています。

グリーン購入大賞の特徴は、グリーン購入の普及・拡大に関して下記4項目を評価する点です。

- ①【組織的活動】組織的なグリーン購入の取り組み
- ②【普及・拡大】環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の仕組みづくり
- ③【効果】グリーン購入の普及による環境負荷低減効果の実績
- ④【広報・啓発】グリーン購入の広報・啓発

①～④のいずれにも該当しない事例（例えば、製品やサービス自体の環境配慮性能や機能の説明に留まる事例等）は表彰の対象外になります。

＜賞の種類＞

- 【環境大臣賞】 自らのグリーン購入活動、もしくは環境教育や環境コミュニケーション等を通じた一般消費者等へのグリーン購入の普及活動が、特に優れた1団体
- 【経済産業大臣賞】 環境配慮製品・サービスを通じて、グリーン購入の市場を拡大する活動が特に優れた1団体
- 【農林水産大臣賞】 国内農林水産業の発展に資するグリーン購入活動、もしくは一般消費者等へのグリーン購入の普及活動が特に優れた1団体
- 【大賞】 特に優れた取り組みを行う団体（各部門で1団体 計5団体程度）
- 【優秀賞】 グリーン購入に関連して優れた取り組みを行う団体（3～6団体）
- 【審査員奨励賞】 グリーン購入に関連して今後の発展性が期待される取り組みを行う団体

＜応募テーマ＞ 以下の応募テーマに該当する取り組みを募集します。

NO	応募テーマ	応募の例
1	組織的なグリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニークな分野や方法によるグリーン購入の具体的な取り組み ●環境に配慮した購入に関する契約や入札のしくみの構築 ●企業や自治体等の事業者の取り組みを評価するしくみ ●サプライチェーンのグリーン化 等
2	環境配慮型製品・サービスの普及・拡大につながる取り組み（販売含む）	<ul style="list-style-type: none"> ●環境配慮型製品／サービスの活用と普及の取り組み 企画・開発、設計、製造、輸配送、販売、簡単に購入できるしくみ、評価認定制度、環境情報を提供するしくみ（コーズマーケティング、カーボンフットプリント、カーボン・オフセット等）等を通じたグリーン購入の普及・拡大 等
3	グリーンコンシューマーの育成・増加への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●環境教育（グリーン購入に関する学習等）の実践 ●グリーンコンシューマーの増加につながる地域の活動 ●グリーン購入につながるPRやイベント等の啓発活動 等

＜応募資格＞

- 上記の応募テーマに該当する活動に取り組む団体〔企業、行政、民間団体、学校等〕または協働プロジェクト。
- 自薦・他薦は問いません。（他薦の場合は、応募対象団体等に了承をとった上でご応募下さい。）

＜応募部門＞ 部門を1つ選んで応募用紙を作成してください。

大企業	中小企業※1	行政	民間団体※2・学校	協働プロジェクト※3
-----	--------	----	-----------	------------

※1 中小企業とは、中小企業基本法第2条に該当する企業のことです。

※2 民間団体とは、公益社団法人及び公益財団法人、特定非営利活動促進法第2条第2項に規定する特定非営利活動法人その他の営利を目的としない民間の団体、生協、農協、農事組合法人、集落営農組織等の団体です。

※3 協働プロジェクトは、セクターを越えた連携プロジェクトが対象となります。社内プロジェクト等の同一組織内のプロジェクトは対象となりません。

＜審査方法と審査基準＞

- 書類審査（1次、2次）を行った後、書類審査通過団体による本審査（プレゼンテーション選考）を行います。
- 活動による成果・効果、先進性・独自性、継続性・発展性等を評価します。
 - 応募用紙記入内容の確認
応募用紙の記入もれを確認します。特に、応募テーマとの関連を示す活動内容、グリーン購入の普及・拡大に関する4つの観点（①【組織的活動】組織的なグリーン購入の取り組み、②【普及・拡大】環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の仕組みづくり、③【効果】グリーン購入の普及による環境負荷低減効果の実績、④【広報・啓発】グリーン購入の広報・啓発）の該当する項目との関連を示す活動成果・効果の記載を確認します。可能な限り定量データの提供をお願いします。
 - 1次審査（書類審査）
応募事例の「活動による成果・効果（環境負荷低減の成果・効果がある、グリーン購入の普及が期待できる）、先進性・独自性、継続性・発展性」を評価します。応募用紙の情報に基づく評価が難しい場合、応募事例の情報を補足するために、応募者へヒアリングをする場合もあります。
グリーン購入の普及・拡大に関する4つの観点について、①～④のいずれにも該当しない事例（例えば、製品やサービス自体の環境配慮性能や機能の説明に留まる事例等）は2次審査の対象外（落選）とします。
 - 2次審査（書類審査）
1次審査を通過した応募事例の「活動による成果・効果、先進性・独自性、継続性・発展性」を評価します。優秀な応募事例を10件程度、選出します。選出された事例は本審査へ進みます。
 - 本審査（プレゼンテーション選考）
2次審査を通過した応募者は、本審査委員にプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションと質疑応答を通じて、「活動による成果・効果、先進性・独自性、継続性・発展性」を評価し、グリーン購入の普及・拡大と質的向上に貢献する優秀な事例として各賞を選出します。

＜応募方法＞

応募用紙に必要事項をご記入の上、GPN事務局宛に郵送もしくはメールでお送り下さい。

- ※ 応募用紙は、GPNのホームページ（<http://www.gpn.jp/>）からダウンロードできます。
- ※ 応募内容の記述欄が不足する場合は、最大でA4版2ページ分の用紙の追加は可能です（応募用紙全体で4ページまで）。
- ※ これまでの受賞者の応募用紙記入例をGPNのホームページ（<http://www.gpn.jp/>）で公開しています。

＜表彰までのスケジュール＞

- 【応募期間】 5月～7月
- 【審査】 1次、2次審査7月～8月
- 【本審査会】 9月 東京都内にて
- 【表彰式】 12月 エコプロダクツ2015にて

※受賞団体の活動内容はニュースレター、ホームページ、マスコミ等を通じて広く公表します。またセミナーや全国フォーラム等において取り組みの紹介や発表の機会をご用意いたします。

＜本審査委員＞

平尾雅彦氏（東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 教授、グリーン購入ネットワーク(GPN)会長）
奥真美氏（首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 教授）
石川雅紀氏（神戸大学大学院経済学研究科 教授）
大熊一寛氏（環境省 総合環境政策局環境経済課長）
小浦克之氏（経済産業省 産業技術環境局環境政策課 環境調和産業・技術室長）

木内岳志氏（農林水産省 大臣官房 環境政策課長）
池田三知子氏（日本経済団体連合会 環境本部長）
伊藤剛寛氏（読売新聞社 生活情報部 次長）
長尾真輔氏（毎日新聞社 科学環境部 部長）
村上富美氏（日経BP社 ecomom 編集長）

＜主催＞ グリーン購入ネットワーク（GPN）

＜後援＞ 環境省（予定）、経済産業省（予定）、農林水産省、日本経済団体連合会、WWF ジャパン、読売新聞社（予定）、毎日新聞社、日刊工業新聞社、日経BP社（予定）

受賞団体はグリーン購入大賞のロゴマークをご使用頂けます

＜お問合せ＞

グリーン購入ネットワーク（GPN）事務局
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル 9F
TEL. 03-5642-2030 FAX. 03-5642-2077 E-mail : gpn@gpn.jp



第17回 グリーン購入大賞 応募用紙

記入日： 2015 年 月 日

部 門	部門「該当するものひとつに○」を付けてください。		
	1	大企業	
	2	中小企業 ^{※1}	
	3	行政	
	4	民間団体 ^{※2} ・学校	
	5	協働プロジェクト ^{※3}	
	<p>※1 中小企業とは、中小企業基本法第2条に該当する企業のことです。</p> <p>※2 民間団体とは、公益社団法人及び公益財団法人、特定非営利活動促進法第2条第2項に規定する特定非営利活動法人その他の営利を目的としない民間の団体、生協、農協、農事組合法人、集落営農組織等の団体です。</p> <p>※3 協働プロジェクトは、セクターを越えた連携プロジェクトが対象となります。社内プロジェクト等の同一組織内のプロジェクトは対象となりません。</p>		
応募 テーマ	応募テーマ「該当するものに○」を付けてください（複数可）。		
	1	組織的なグリーン購入の推進	
	2	環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の取り組み	
	3	グリーンコンシューマーの育成・増加への取り組み	
応募 者の プ ロ フ ィ ー ル	団体名	(フリガナ)	
		※プロジェクトでの応募の場合は、こちらにプロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。	
	応募担当者 連絡先	所在地： 〒	
		部署名：	役職名：
		氏名（フリガナ）：	
		電話番号：	FAX番号：
		メールアドレス：	
	ホームページ	http://	
	資本金（企業のみ）		
	従業員・職員数		
	事業内容（※行政の場合は、記入は不要です）：		
グ リ ー ン 購 入 の 取 り 組 み 状 況	※応募団体または応募プロジェクトとしてのグリーン購入の取り組み状況を簡単にご記入ください。		
	※【行政部門】自らのグリーン購入法、環境配慮契約法の取り組み状況をご記入ください。		

応募内容 (前ページを含め、合計4ページ以内で記述して下さい。図や写真も使用可能です。)

1. 応募する活動の名称・タイトル

2. 活動の概要

※応募テーマとの関連を示す活動内容を記入します。

※過去に受賞実績のある団体は受賞年、賞の種類、受賞事例の概要、本応募内容との違いを記入します。

3. 活動による成果・効果（できるだけ具体的・定量的な内容をご記入下さい。）

下記①～④のうち、該当する項目を○で囲みます（○は1つ以上）。その項目との関連を示す活動成果・効果を記入します。

◆グリーン購入の普及・拡大に関する4つの観点

- ①【組織的活動】組織的なグリーン購入の取り組み
- ②【普及・拡大】環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の仕組みづくり
- ③【効果】グリーン購入の普及による環境負荷低減効果の実績
- ④【広報・啓発】グリーン購入の広報・啓発

◆グリーン購入の普及・拡大に関する4つの観点のうち、該当する項目との関連を示す活動成果・効果

4. 活動に関して、①先進性・独自性、②継続性・発展性についてご記入下さい。（各200字程度）

①先進性・独自性

②継続性・発展性